

だより 町民会議

News from
townsman meeting

2017.1.1
No.147

下郷町青少年育成町民会議だより

青少年の主張発表～前号からのつづき、新年のごあいさつ

新年のごあいさつ

丁酉歳を迎え、謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

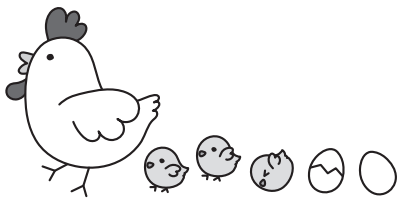
日頃、皆様には、青少年育成町民会議の活動に対し、一方ならぬご協力を賜り、誠に有難うございます。本年も、下郷の子ども達の為、更なるご支援をお願い申し上げます。

現在、我々を取り巻く環境は、パソコンやスマートフォン等を筆頭に、便利な機器で溢れ、その機能も、物凄いスピードで進化し続けております。今や、それら無しでは社会が成り立たぬ程です。確かに合理的であり、利便性に富み、スピーディーでもあります。しかし、世の中には、そうであつてはならぬ大切なものがあります。子ども達は個性のかたまりで千差万別。その育成には、惜しまぬ手間と充分な時間を掛けなければなりません。やっつてあげるこ



町青少年育成町民会議
会長 白石 光史

とも必要。やっつてみせることも必要。やらせることも必要。そして、決して目を離す事なく、見守ることも必要であると思います。我々大人は、ついつい手や口を出しがちですが、成長するに従つて、見守ることが大切になります。本年は、どより年々子ども達が、無事巣立ちし、大きく羽ばたけるよう、皆様のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。



優良書籍のご案内



テオの「ありがとう」ノート
著 クロディーヌ・ル・グイック＝プリエト
訳 坂田 雪子



タンチョウのきずな
写真・文 久保 敬親



大きなたまご
オリバー・バターワース
訳 松岡 享子

早寝 早起き 朝ごはん

大人が変われば、子どもも変わる

先日、「食」に関する研修会に参加しました。そこで、なるほど...と思つた事例を紹介したいと思つています。現代の食事の傾向として次に挙げる特徴があるそうです。

- 【孤食】 家族が不在の食事やひとりだけで食べる。
- 【個食】 家族がそれぞれ自分の好きなものを食べる。
- 【固食】 自分の好きな決まったものしか食べない。
- 【小食】 食べる量が少ない。お菓子中心で食事が少ない。
- 【粉食】 粉製品を主食として好んで食べる。

11として、

【濃食】 味の濃い物を好んで食べる。

の5つの「こ食」+1の傾向があり、現代の問題点でもある「こ食」の問題は、心への影響も大きく子ども達も「食」を通して大人からの愛情を伝えたいですね。

5つの「こ食」+1を知っていますか？

青少年の主張発表 小学生の部



いじめについて考える

榎原小学校5年
阿久津 陽菜

みなさんは、いじめという言葉を知ったことがありますか。

わたしがいじめを知ったのは、朝、ニュースを見ている時でした。ニュースの内容は、「高校で、女子生徒がトイレで自殺」というとても悲しい内容でした。最初は、「いじめ」というのを知らなかったのですが、あまり気にしていませんでした。しかし、一週間後に「中学校でいじめられ屋上から飛びおり自殺」というニュースを見ました。

「え、何、また。」

私はショックでした。これがわたしがいじめを知ったきっかけです。

いじめの中には、相手が傷つくことを言うというのがあります。わたしも前に、「もうお前は友達じゃない。」と言われたことがあります。その時は、何でそう言われたのか理由も分からなくて、すごくショックでした。学校に行きたくない。休みたいと何度も思いました。いっばいなやみました。いっばい泣きました。苦しくてがまんができません。思い切つて先生に相談しました。そうしたら心がスッキリしました。それから、いやなことを言われることもなくなりました。あの時、思い切つて先生に話してよかつたなと思えました。もし、やんでいたり、いじめられたりして困っている人がいたら、思い切つて先生やお家の人に話した方がいいよと言つてあげたいです。

でも、どうして誰かをいじめの心が出てきてしまうの

でしょうか。わたしは、イライラする心がそうなるのではなにかと思います。わたしは前、お母さんにしかられてイライラして弟にいじわるをしたことがあります。弟に何かされたわけでもないのに、弟をばかにしていじめてしまいました。こういう気持ちが大きくなるといじめになつてしまうのだと気づきました。いじめの心は、イライラの心をスワカッとさせようとして出てきてしまうのかもしれない。

五年生になつて、道徳の授業でみんながいじめについて考える授業をしました。道徳の本にのつていた話は、一人の男の子がある日とつぜん友達だと思つていた子に「めいわくなんだよ。あつちにいけよ。」と言われてクラスのみんなからも無視されるというものでした。わたしはその話を讀んだとき、「なんで誰も注意しないの。」と思いましたがわたしは昔、館石のおばあちゃんにこんなことを言われました。

「見て見ぬふりをするのもいじめだよ。」

最初はどういう意味か分からなかったけれど、この話を讀んで、そういう意味かと分かりました。もう一つ、おばあちゃんも言っていました。

「太陽さんはいつも見ているよ。悪いことをすると必ず自分に返つてくるんだよ。」

これも最初はどういう意味か分からなかったけれど、少し意味が分かつたような気がします。

わたしは、今のクラスは、みんなやさしいし、おもしろい子もいて、元気で良いクラスだと思えます。このクラスからいじめが出るなんて絶対にいやです。もし、いじめを見つけたらしたらまず、先生やお家の人に相談するのが一番だと思います。いじめをしたくないと思つている人なんていません。誰か一人でも「やめよう。」と言つたらみんなさんせいすると思えます。いじめはみんなが協力すれば止めることができます。いじめはひきょうです。最低なことです。いじめの傷は心につつまでも残つてしまいます。わたしはいじめのないクラスをこれからも作つていきたいです。みなさん、いじめで困っている人がいたら誰かに教えてあげてください。そして、いじめで困っている人は思い切つて誰かに話してください。みんなで未来を変えましょう。



健康で心豊かに過ごすためには

旭田小学校5年
松田 慧桜

私は、下郷町に住んでいるみんなが、健康で健やかに過ごすためにはどうすればよいかを考えました。

その方法の一つは、元気なあいさつをすることだと思えます。特に次の三つのことをすれば、下郷町のみんなが健康で心豊かに過ごせると考えました。

一つ目は、私が住む地区のみんなに、自分から進んであいさつをすることです。

旭田小学校では、毎朝、代表委員会の人があいさつ運動をしています。あいさつをすると自分も元気が出る、もちろん、あいさつをされれば、とってもいい気持ちになります。

だから、私の地区に住む、おじいさんやおばあさんに、私のあいさつで元気になつてほしいと思えます。そして、長生きしてほしいと思えます。

二つ目は、近所の人の話を聞いたり、たくさんの人に声をかけたりすることです。

おじいちゃんのおばあちゃんは、私がまだ生まれてないときの、いろいろなことを知っています。戦争を経験したおじいちゃんのおばあちゃんの話は、信じられないことばかりですが、本当にあつたことです。

悲しくて苦しい戦争を二度と繰り返さないようにしたいです。そして、私が平和な世界が続くように、おじいちゃんのおばあちゃんを守つてあげたいと思えます。

三つ目は、体が不自由な人にやさしくすることです。私がおみせに行つたときに、目が見えなくても心は通じます。そんなとき私はいつも、目が見えなくても心は通じ合えると思うので、あいさつをしています。

たくさんの方が下郷町を良くするために、一生懸命が

ばっています。あいさつがしつかりできれば、相手と仲良くできて、けんかをしないようになると思います。

「おはようございます。」「こんにちは。」「や」「さようなら。」を言うと、みんながやさしくなつて、協力し合うことができて、平和な町になると思います。下郷町が平和になり、世界が平和になると思います。

そうすれば、たくさんの方がますます幸せになり幸せがあふれる下郷町は、明るくなると思います。明るく元気な下郷町は健康で健やかに過ごせるようになると思います。

私は、大人になり仕事をするようになって、しつかりあいさつができるようにしたいと思います。

でも、未来の私はきちんとあいさつできているか。きちんと仕事ができているか。不安な気持ちもあります。

しかし、あいさつができれば、勉強だつてしつかりできると思うし、しつかり勉強できれば、自分の夢もかなえることができると思います。

私の夢は、自然科学者になることです。もしかすると夢が変わるかもしれませんが、自分の夢をかなえるためにも、今を一生懸命がんばって生きたいと思います。

私は五年生になり高学年の仲間入りをしました。学校でも下級生のお手本になつてがんばつていかなければなりません。

学校では、自分から進んで元気にあいさつしていきます。あいさつは、学校を明るく元気にします。また、学校だけでなく、下郷町に住むみんなを元気にしてくれれます。だから、地区の人にも元気にあいさつをしていきます。

さらに、下郷町にはたくさんの方が訪れます。外国の方もいらつしやいます。その人たちにも、元気にあいさつをして、下郷町のすばらしさを伝えたいと思います。

そして、みんなが元気にあいさつできるようになれば、下郷町が世界でいちばん健康で健やかに過ごせる町になると思います。

私は、自分の夢と下郷町が世界でいちばんの町になるようにがんばつていきます。

友達に感謝

江川小学校5年

芳賀 美咲

私はスイミングに通っています。小さいころは行くのがいやでした。でも今は、行くのが楽しみです。それは、三人の友達がいからです。

私は今から四年前、小学校二年生のときにスイミングを始めました。兄がスイミングに通っていて、いいなと思つて「私も習いたい。」と言つたのがきっかけです。そこで、夏休みに通うことになりました。

初めの日には、まだ友達がいませんでした。でも次の日に話しかけてくれた人がいました。私はうれしくて、夏休みが終わつてからもスイミングに通おうと決意しました。でも、いざ通い始めてみると、その子と会うことはありませんでした。その子は夏休みの間だけ通つていたのかもしれない。スイミングには男の子しかいなかった日もあり、私はさみしさで泣くこともありました。そしてとうとう母に言いました。「友達がいないからいや。もうやめたい。」そんな私に母は言いました。「友達を作っちゃえばいいんだよ。がんばろう。」私はこの言葉が心にひびき決めました。友達を作つてがんばろうと。

その後、友達が何人かでき、四年生の時には、特に仲のいい友達が二人できました。一人は上級生で、もう一人は私と同級生の南美さんです。なれてくると三人でたくさん話をしたり、遊んだりして、楽しくすごしました。

でもせつかく仲良くなつた上級生の友達は、スイミングをやめることになってしまいました。私はとても悲しい気持ちになりました。仲良くなつた友達と別れるのはつらいです。「なんで、なんで、なんで。」今考えれば、私にはどうしようもないことだけど、友達がなぜやめてしまうのか、そればかり考えてしまいました。でもある日、「会え

なくなつた友達との思い出は大事だけど、もう一人いる仲良しの友達を大切にしよう。その方が大事だ。」と思つたのです。

南美さんと私は級が一つちがいますが、私たちはまるでふた子のように気が合いました。南美さんは優しいです。そして負けずらいで、最後まであきらめないのがいいところだと思つています。一方私は、友達が言うには優しくたよりがないが、あるようですが、私はすぐあきらめてしまふことがあります。

練習はつらいこともあるけれど、練習以外の時間はとても楽しくすごせました。そのおかげでつらい練習もがんばれたような気がします。

スイミングでは、進級のテストがあります。テストの日私はきんちょうでいっぱいでした。でも南美さんはニコニコ笑顔で、私も笑顔になることができました。テストが終わると、「インタビュー会」といつて、おたがいインタビューをします。何をインタビューするかというと、結果とタイムです。そして、おたがいのよかつたところやアドバイスを言い合います。いいところばかり言われると照れてしまいますが、たくさんほめてくれるとうれしいです。私もたくさんほめます。「南美ちゃんのおかげで合格できたよ。」と言つたら、南美さんも「私もだよ。」と言つてくれます。心が温かくなります。

私がテストで合格できなくて、うつむいてシャワーを浴びていたことがあります。南美さんが急にシャワーを止め、「なんで落ち込んでいるの。」と聞いてきました。私は「テストのことだよ。」と言うと、南美さんは「しょうがないんだよ。だつて私も合格しなかつたもん。」と言いました。そして、ニコニコしながら歌を歌いました。私はそのおかげで笑顔になれました。

私はスイミングに通つていてよかつたと思います。やめなくてよかつたです。なぜならこんなにもいい友達と出会えたからです。私も南美さんのように、前向きで周りの人にもパワーをあげられる人になりたいです。



私を変えてくれたピアノ

榎原小学校6年
白川 順姫

私が今、夢中になって取り組んでいることの一つにピアノがあります。八月の発表会に向けて新しい曲にチャレンジし、日々練習にはげんでいます。

私がピアノを始めたのは小学校一年生になってからです。そのころはピアノを好きになれず、ずっとやめたいと思っていました。算数で長方形や三角形の公式があるように、私の中のピアノは「きらい、イコールできない、やめたい」という公式が成り立っていました。

そんな私の気持ちに変化が表れたのは三年生の時。それは卒業式に五年生の先輩が在校生が歌う曲のばん奏をしている姿を見て、

「すごいなあ。私もひいてみたい。」

と心から感動しました。その日から、頑張る意欲が芽生えてきました。

ピアノの楽しさを知ったのは四年生の時。合奏祭ではピアノを担当することになりました。曲名は「レットイットゴー」難しい曲ではありましたが、練習を重ね、日に日に上達していくのが分かりました。それまでは一人でひいていたのに、友達の楽器と合わせる心地よさを体験することで、もう一つのピアノの楽しみ方を知りました。

しかし、大きなかべに当たったのは五年生の時。ずっとあこがれていた卒業式でのピアノばん奏者となり、すぐくうれしかったのを覚えています。曲名は「大空がむかえる朝」みなさんも一度は耳にしている曲だと思います。葉ふを見た時は難しさのあまり、弾けるか不安になりましたが、早くひいてみたい、頑張ってみようという前向きな気持ちの方が強かったです。しかし、いざ練習を始めてみる

と、右手と左手がなかなか合わないし、曲の中でテンポが変わる所も難しく、できない自分がくやくして何度も泣きました。でも、一年生の頃とは違い、どんな気持ちになってもピアノを弾くことが好きな自分がいました。いつの間にか、私の心の公式が「好き、イコール努力できる、がんばれる」に変わっていました。私は毎日ピアノと向き合い、うでが痛くなるまで練習しました。そのかいあって、やっと最後まで弾けるようになりました。しかし、試練はまたやってきました。全校生の歌に合わせて曲を弾くと、自分がイメージしているばん奏が全くできなかったのです。

(あんなに頑張つて練習したのに)という思いとくやしさが、ばん奏をまचाがうたびにこみ上げてきました。私は上手く弾けず落ち込んでいることをピアノの先生に相談してみました。すると先生は、

「ピアノがみんなに合わせるのではなく、みんながピアノに合わせてくれるから。」

と言われました。その言葉が私の気持ちをととも楽にしてくれました。それからは、全校生の前でもきちんとすることなく、堂々と弾けるようになりました。いろいろ悩んだりたくさん苦労したりしたけれど、卒業式当日は、今までで一番のばん奏をすることができました。

私がピアノを通して学んだことは二つあります。一つ目は何事も好きになれば頑張れるということです。私の心の公式も「きらい、イコールできない、やめたい」から、「好き、イコール努力できる、がんばれる」という気持ちに大きく変わりました。これは私の心の成長だと思っています。二つ目は「努力はうそをつかない」ということです。人は才能だけではありません。努力をするから結果がついてくるのだと思います。努力した分、達成感も大きくなります。かべがあつても、努力によつて乗り越えた時こそ、本当の力がつくことを感じました。

私の夢は子どもにたずさわる仕事をする事です。いつの日か、私のピアノばん奏で子どもたちと楽しく歌える日が来ることを信じて、これからも努力を重ねていきたいです。



魔法の言葉

旭田小学校6年
湯田 大誠

言葉にはいろいろな力があります。言葉があることで勉強することや、友達と話をすること、気持ちを伝えることができます。もし、言葉がなかったら、社会に出たときに必要な知識が身に付かないだけでなく、コミュニケーションがとれず、怒ることも笑うことも泣くことも、何もできなくなってしまうかもしれません。だから、言葉は人間にとってなくてはならないものです。

だからこそ、言葉は相手のことを考えて話す必要があると思います。ことわざにも「口は災いのもと」など言葉の使い方に關するものがあります。よく考えずに言葉を使うと、自分に災いがおこることがあるという例えです。だから、よく考えて話していくことがとても重要です。

まず、話す前に自分が言われたらどう感じるかを考えてみましょう。ここが大切です。楽しい言葉を使えば相手を笑わせたり、安心させたりすることができますが、意地悪な言葉を使ったら相手を悲しませてしまいます。例えば、私の周りでは「ばか」「消えろ」「きもい」などの言葉を何気なく使ってしまうことがあります。よく考えずに話してしまっている例です。このようなことを続けていくと周りとの人間関係が悪くなり、仲間外れやいじめが起る可能性が高くなります。それがエスカレートすると、ニュースでもあるように、子どもの自殺などにつながってしまうのだと思います。だから、悪い言葉は心から取り除き、「大丈夫」「がんばろう」「ごめんさい」「ありがとう」などの良い言葉を増やして、できるだけ相手を思いやつた言葉を使っていけばいいと思います。

また、相手の言葉をどのように受けとめていくかも大切です。自分が意地悪な言葉を言われてもすぐに言い返

さず、なぜ言われたのかを考えて相手の気持ちを想像することが必要だと思います。僕自身、友達に悪口を言われてすぐに言い返した結果、仲が悪くなったことがあります。それは、授業中に友達に教えてもらっているとき、「なぜそこが分からないの。」

と言われて、かっとなつてしまい口げんかになりました。口げんかでは「何でわからないの」や「なら教えなくていい」などの言葉を言い合っていました。しかし、家に帰ってからもよく考えると、せっかく教えてもらったのにかっとなつてしまったので、とても悪いことをしたと思いました。そして、次の日に「ごめん。」と謝りました。すると、すぐに仲直りすることができました。このように言葉の受けとめ方によつて、大切な友達をなくしたり、逆に仲良くなったりします。だから、相手の言葉を受けとめるときは自分のことばかり考えず、相手の立ち場を考慮することが必要だと思います。

相手を思いやつた言葉づかいをすること、相手の立ち場を考えて言葉を受けとめることをしていけば、相手側に立つことができるようになります。相手側に立つことができれば、自然と使う言葉も相手を大切にできるものになるはずです。

そのためにも僕は、言語力を身に付けていきたいです。これからたくさんの言葉を知り、それを正しく使えるように日々の学習をもつとがんばっていききたいです。また、相手の気持ちを考えて言葉を使えるような優しさを身に付ける努力もしていきたいです。友達や家族をできるだけ傷つけず、逆に笑わせたり元気づけたりできるように人に成長していきたいと思っています。

私達の周りには、いろいろな言葉があります。その一つひとつには、自分や相手を変えようとする力が宿っています。だから、言葉は人々をよくするために使っていく必要があるのではないのでしょうか。みなさんは、一言一言を大切に、言葉の持つ力を考えて使っていますか。



ものの大切さ

江川小学校6年
星 奈緒

「もうじゅうぶん使ったよね。」

小さくなったえんぴつを見た時の、わたしの気持ちです。まだ使えるかもしれないけれど、えんぴつけずりでは、しっかりけずれるかどうか分からない、そんなえんぴつでした。

「もういいや。」

私は、そのえんぴつをゴミ箱にすててしまいました。私は、そのことをお母さんに話して

「新しいえんぴつを買ってほしい。」

とおねだりしました。でも、そこで返ってきたお母さんの言葉は、

「それつてもつたいたいんじゃないの。」

の一言でした。私はその時、

「けっこう使ったんだからいいじゃない。」

という思いが心のどこかにありました。

気をつけて見てみると、教室のごみ箱にはまだ使えるえんぴつが他にも捨ててありました。それを見た時、「まだ使えるえんぴつを捨てるなんてもつたいたい。」と思います。その時お母さんが言った「もつたいたい。」という言葉が私の心につきささりました。お母さんは私に「物を粗末にしてはいけない。」ということを教えたかったのだというように感じました。私は、この時から、ものを大切にすることとどういふことなのか考えるようになりました。

みなさんは、3Rという言葉聞いたことはありますか？

一つ目のRはリサイクルで、日本語の意味にすると再資源化という意味です。私たちの身近なところでは、ペット

ボトルのごみから、カーペットや洋服が作られたり、新聞紙などの古い紙から学習で使うノートが、作られたりしています。

二つ目のRはリユースで、再利用という意味です。直すと使えるようなものを修理したりしてまた利用するので、パソコンなどの電化製品や、洋服などまだまだ使えるようなものは、きれいにして外国の貧しい人々に安くゆずってあげたりしているそうです。

三つ目のRは、リデュースでごみの削減という意味です。最近では買い物をする時に自分のバックを持っていき、買った物をマイバックに入れて持ち帰る人が増えてきました。これによつて、品物を入れるビニール袋が必要なくなり、ごみの削減につながっているのです。

リサイクル、リユース、リデュースこの三つの言葉の頭文字のRから、ものを大切にする活動が3Rと呼ばれるようになったのです。

このことを知ってから、わたしも3Rを意識して生活するようにになりました。

私は、お父さんが仕事に使った紙を、メモ用紙に使ったり、おりがみに使ったりして、リサイクルを、心がけています。ポロポロになったタオルは、ぞうきんにかえたりもしています。

それとえんぴつですが、今は、短くなったらキャップを使ってえんぴつを長くして使うようにしています。そうすると最後までえんぴつをむだなく使うことができます。

わたしは、本当に使えなくなったもの以外むやみに捨てないようにになりました。小さなことですが、これらは、私ができる3Rの活動だと思っております。この大切なことに気づかせてくれたのはお母さんの「もつたいたい。」の一言でした。

みなさんは、自分の生活に必要なものを大切に使っていますか？まだ使えるものを、簡単に捨てていませんか？

わたしたち一人一人がものを大切にすると意識を持って生活することが、将来の自分たちの生活を地球の環境を守ることに、つながると思うのです。

みなさんも3Rを意識して、ものを大切にしていきたいま

2017/1/1
No.147
●編集・発行
下郷町青少年育成町民会議
(町教育委員会事務局内)
〒969-5345
福島県南会津郡下郷町大字
塩生字大石 1000
TEL.0241-69-1168
FAX.0241-69-1167

賀正

今年は酉(とり)年

「酉」という漢字は酒つぼを描いたもので、「酒」に関する字に使われてきました。収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表します。そのことから、果実が成熟した状態を表していると言われています。「酉」がとりとしてあてられた理由は特に意味はないようです。

「実る」にちなんだ酉年だけに、皆様にとって実り多い一年になりますように。

2 下郷町スキー教室/町民スキー大会

第1回スキー教室

平成29年1月7日(土)

第2回スキー教室

平成29年1月14日(土)

時間/午後1時30分～午後3時30分

会場/会津高原 だいくらスキー場

集合場所/第1ロッジ前
(午後1時15分集合)

対象者/小学生から一般

費用/レッスン料無料
傷害保険料1回につき200円
(未加入者のみ)
※リフト代は自己負担となります

申込方法/教育委員会社会教育係まで
申込書及び保険料を添えて提出

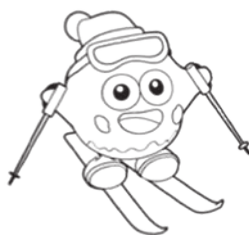
申込期限/平成29年1月4日(水)まで

町民スキー大会

日時/平成29年2月26日(日)

受付 午前8時30分～

会場/会津高原 だいくらスキー場
※詳細は今後配布されます
チラシをご覧ください。



1 冬期休業について

町内各小中学校の児童・生徒が、冬期休業に入ります。

期間/平成28年12月23日(金)～

平成29年1月9日(月)

子ども達の冬休みが、安全で安心に過ごせるよう、ご協力をお願いいたします。

～有意義な冬休みにするために～ 規則正しい生活を送りましょう

- ◎夜ふかし、食べ過ぎ、運動不足(ゲームやテレビばかり)にならないように注意しよう。
- ◎外から帰ったら、手洗いやうがいしよう。
- ◎安全に気をつけて生活を送りましょう
- ◎雪遊びをするときは、軒下や側溝、道路への飛び出しに気をつけよう。
- ◎日が暮れるのが早いので、午後四時頃には帰宅しよう。
- ◎子どもだけで出かけるときは、「誰と、どこで、何をするのか」を家族に伝えよう。

思い出に残る楽しい 体験をしましょう

- ◎地域の行事や子ども会の行事に積極的に参加しよう。
- ◎友だちと身近にできる様々な遊びを考えて、遊ぼう。
- ◎自分にできる家でのお手伝いを決めて、忘れずにがんばりましょう。

毎月第3日曜日は、家庭の日です



家庭の日とは

家庭は、次世代を担う青少年が基本的な生活習慣や規範意識の基礎を身につけ、人格を形成する上で大きな役割を担う大切な場所です。

そこで、家族みんなが話し合う機会をできるだけ多く持つことにより、絆を深め、明るく楽しい家庭づくりを進めるため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めています。

「家庭の日」には、家族一緒に過ごすことを心がけましょう。